

「センセ、ホンマのところ、どうなん？」

～「教員の自己開示」を中心とした部落問題学習の取り組みから～

講師：徳永 信一さん（滋賀県立湖南農業高等学校）

9月20日(金) 14:30～ 場所：大手前大学 大阪大手前キャンパス
(14:00 から受付)

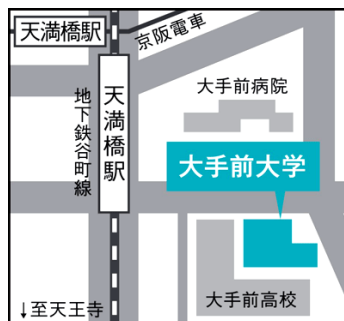
生徒としっかりかかわることは、同和教育だけではなく、あらゆる教育活動の基本です。しかし、そもそも「かかわる」とはどのようなことなのでしょう。かかわるときの教職員のスタンスはどうあるべきなのでしょう。 “意味ある他者”として我々はどこまで生徒にかかわっているのでしょうか。

講師の徳永信一さんは、2010年に起こった職場での差別事件を契機に、あらためて教職員自身の中にある差別意識に向き合い、教職員と生徒の「距離」について徹底的にこだわる取り組みを、学校全体で進めてこられました。その取り組みの一つとして、全ての教職員が生徒に自己開示をするロングホームルームがあります。何を話すかはそれぞれの教職員が考え、決めますが、誰が差別の当事者なのかという点について明確に語ることが全員に求められます。この取り組みによって学校の「空気」が変わり、その結果として生徒指導・教育相談・支援教育・教科指導など、全てが変わったそうです。

生徒とのかかわり方に徹底的にこだわり、まずは教職員自身が社会の現実に向き合い、その立ち位置から逃げない覚悟をもつ。そのうえで生徒との関係を再構築していくという実践から学ぶことによって、これからの部落問題学習を考えていくきっかけを得られるセミナーにしたいと思います。

部落問題学習だけでなく、人権が尊重される学校体制の構築に興味関心のある教職員、そして教職経験の少ない教職員の皆さまのたくさん参加をお待ちしています。

◆◆◆会場へのアクセス◆◆◆



(場 所)

**大手前大学 大阪大手前キャンパス
C棟8F C816教室**

〒540-0008

大阪市中央区大手前 2-1-88

(交通手段)

京阪電車・大阪メトロ谷町線

「天満橋」駅から南東へ約240m

お願い

☆**名札**をご持参ください。

☆お申し込みは、別紙「参加申込書」により、逡送、EメールまたはFAXでお願いいたします。

申し込み〆切：9月17日(火)

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106 府立柴島高等学校内

(逡送便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通) (お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-mail furitsujinken@nifty.com

(お問い合わせは、なるべくEメールをご利用ください。)

URL <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>



府立人研 HP も ↑
チェックしてください。